



宮永岳彦記念美術館だより

2024 11月

発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

常設展示室



宮永岳彦 何者？

2024. 5/18 (土) ~ 12/1 (日)

展示作品より今月の一点
《ヘチマくん 遠藤周作著》



標題になっている「ヘチマくん」とは、主人公である豊臣鮎吉のあだ名です。太閤秀吉の末孫で、容貌風采がヘチマのように面長でモッサリとしているところから付けられました。人を疑うことを知らない、底抜けに善良なヘチマくんが巻き込まれる事件を描いた、遠藤周作著のユーモア長編作です。

宮永はこの作品の装幀画を描いています。ちぎり絵の手法を取り入れ、インクやカラーフィルムをのせる独自の作画で、不器用で純朴なヘチマくんの魅力が表現されています。

魚を啜えて澄ましている黒猫、丸い真っ赤な頬つぺた、向かい合う女性との間に描かれたハート等、可愛らしくほのぼのとした雰囲気を感じさせます。当時この本を手にとった読者は、宮永の装幀に心を掴まれたことでしょう。

宮永の温かくユーモラスな装幀画は、狐狸庵先生こと遠藤周作の明朗で軽快なタッチをより魅力的にしているのです。

1961年 装幀原画

観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円引き)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料
開館時間 ・午前10時から午後7時 (入館は午後6時30分まで)

11月の休館日: 5日(火) 11日(月) 18日(月) 25日(月)

市民ギャラリーのご案内 入場無料

第23回 和泉会展 水をめぐる物語

10月29日(火)~11月3日(日)

10:00~17:00 (初日13:00から 最終日15:00まで)

水の雫・流れ・面・生命にかかわる水の姿に挑戦。60人の水をめぐる千変万化の水図をお楽しみください。

秦野のホタルを守る会 写真展…「富士の妖雲・木花咲耶姫」

11月10日(日)~11月14日(木)

10:00~16:00 (最終日15:00まで)

作品は日本写真作家協会展で銀賞受賞、東京都美術館で11月19日~の写真展に先立ち市内で鑑賞できる好機です。

第69回 秦野市文化祭 華道展

11月16日(土)~11月17日(日)

10:00~17:00 (最終日16:00まで)

秋のいけばな作品を展示します。市民ギャラリーでは初めての開催です。お気軽にお立ち寄りください。入場無料。

第15回 鶴巻デジタル写真教室写真展

11月19日(火)~11月24日(日)

10:00~17:00 (初日12:00から 最終日16:00まで)

これはと見つけた姿を楽しみながら写しとった写真です。ごゆっくり見てください。

※ 市民ギャラリーの予約はインターネットで行うようになりました。

※ 予約には事前に利用者登録が必要です。詳しくはHPをご覧ください。

*** 12月7日(土)から新展示になります! ***



衣装でみる宮永岳彦 ~伝統と流行~

宮永岳彦にとって「衣装」とは？
本展では、宮永が描いてきた衣装に光を当て、その華麗で彩り豊かな作品を紹介します。



2024年12月7日(土) ~ 2025年5月25日(日)

美術館へのアクセス

◆ 小田急線鶴巻温泉駅より徒歩2分
◆ 駐車場 弘法の里湯と共用40台
1時間150円、以降30分ごとに100円

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641